

地域住民の生活利便性を向上する淡路 ICTスマートアイランドプロジェクト

総務省 ICT街づくり推進事業

2014年2月17日(月)

淡路市

株式会社パソナふるさとインキュベーション

株式会社パソナテック

株式会社パソナロジコム

兵庫県

淡路市が抱える課題とその解決に向けた街づくりの戦略



あわじICT

行政課題と街づくり方針

住民へのアンケートに基づいて重点課題をまとめた『淡路市まちづくり基本方針』

災害に強い
安全・安心の町



野島断層 阪神淡路大震の活断層

農漁業の
活性化



淡路島たまねぎ 豊富な生産

商工業の
活性化



淡路瓦 400年以上前から製造

進行する少子高齢化への対応

- 健康づくりと病気予防対策の推進
- 救急・医療体制の充実
- 高齢者福祉の充実
- 子育て支援策の充実
- 個性を育む教育の推進

恵まれた自然環境の保全と地域活性化

- 自然保全と計画的な開発
- 農・漁業の活性化
- 商工業の活性化
- 自然や歴史・文化に配慮した景観形成
- 観光産業の振興
- 循環型社会の実現

定住魅力を高める住環境の整備

- 計画的な宅地整備とU・I・Jターンの促進
- 道路網や公共交通網の整備
- 下水道や生活排水処理施設の整備
- 防犯・防災体制の充実
- 情報通信基盤の整備

分権時代に対応した地域経営の推進

- 事務作業の効率化
- 適正な組織規模への移行
- 多様化する行政ニーズへの対応
- 広域的視点に立った施策の立案・実行

新市における一体感の醸成

- 新市内の地域間交流・連携の促進
- 地域の独自性の尊重

淡路市 まちづくり 基本方針

男性：22,549人
女性：24,582人
計：47,131人
世帯：19,789世帯

道路交通
網の整備

鉄道網がなく、
淡路島内外の
交流促進に欠
かせない。

公共交通
機関の充実

バス路線の維持

淡路島の北部から中部に位置する淡路市は、大阪湾、播磨灘を臨み、淡路島全体の約3割を占めます。また、本州と四国を結ぶ大動脈・神戸淡路鳴門自動車道が南北を通っています。

淡路島は、非常に豊かな自然環境に恵まれ、年間を通じて瀬戸内海特有の温暖な気候であり、日光が当たる時間が長く、その気候・風土を活かした多彩な農業や、特区制度を生かしたエネルギー・太陽光発電等が展開されています。



淡路島全体で取り組むあわじ環境未来島特区



あわじICT

■ 生命つながる「持続する環境の島」

「あわじ環境未来島構想」に取り組む兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市が共同で指定申請を行っていた総合特区（地域活性化総合特区）については、平成23年12月に『あわじ環境未来島特区』として、内閣総理大臣から指定されました。

「エネルギーの持続」

- ・地域資源を活かしてエネルギーを創出する
- ・エネルギー消費の少ないライフスタイル



- 地域資源を活用した再生可能エネルギー創出
- 環境にやさしい乗り物の普及促進
- 太陽熱発電とその排熱利用型バイナリー発電
- 日本有数の潮流を活用した潮流発電の検討
- 跡地等の未利用地を活用した太陽光発電所の整備
- 事業所・家庭での太陽光発電の導入促進

「農と暮らしの持続」

- ・農と食の専門人材を育成し全国に輩出
- ・活力ある農漁業が持続する地域
- ・安心して暮らし続けられる地域
- ・人が集い世界と交流する地域

- 高齢者にやさしい持続交通システムの構築
- 災害に強い地域づくり
- 地域資源を活かしたしごとづくり
- 農と食の人材育成
- 漁船の電動化による漁業のグリーン化
- 食のブランド「淡路島」の推進



現在の取組状況

「エネルギーの持続」「農と暮らしの持続」という、「持続する環境の島」を実現する『あわじ環境未来島特区』+情報通信技術を活用した『ICTスマートタウンの実現』を推進しております。

淡路市ICTスマートアイランドプロジェクトの具体的内容



あわじICT

◆農と暮らしの持続

農業に携わる人材育成、実践・座学の2年課程で独立就農支援、ICTを活用した販売流通システムの構築による1次産業の復興と第6次産業化に取り組む。あわじ環境未来島構想の未利用地を活用した太陽光発電や地域の自然環境等の資源を生かしたエネルギーを活用し、暮らしの持続を可能とする街づくりを目指していく。

◆交通・エネルギー

環境に優しい乗り物や事業所・家庭での自然エネルギー利用を促進する。乗降車地や時間帯などを予約できる乗り合いバスの交通システムを構築する。予約用のスマートフォン/タブレット向けアプリケーションを作成し、利用者の利便性向上を図る。予約・運行状況の一括管理、路線検索、配車指示の全自動化で、エネルギー効率化を図る。

◆防災・減災

利用者の現在地に合わせた防災や防犯の情報を、利用者の携帯するスマートデバイスに配信。配信された情報に対する返答で、該当者の安否確認も出来、ユーザージェネレイトドな情報と、既に稼働中のひょうご防災ネット等のDB情報、共通ID、位置情報、SNSなどの連携で、共通IDを持つ利用者がタイムリーに精度の高い情報を得る事が出来る仕組みを作る。

◆ICT利活用

ICT利用講座や問合せ窓口の設置で、住民のリテラシや利用率の向上を支援する。生鮮野菜、加工品、手作りパンなどのオンラインショップや購入用アプリケーション開発と、講座開催による買い物弱者の購買支援や、農業従事者向け経営/生産支援のICTシステム講座等による、地域農業の経営安定化支援にも取り組む。

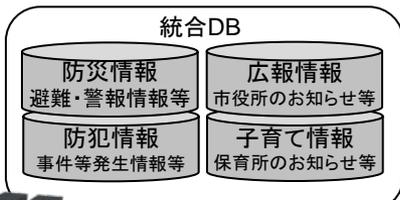
『農と暮らしの持続』

『防災・減災』

頻発する災害。阪神淡路大震災や平成25年4月に淡路島地震(震度6)発生

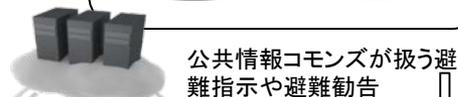
生産・チャレンジファーム

淡路市の耕作放棄地等において、農業分野で独立を目指す若者向け農業ベンチャー支援



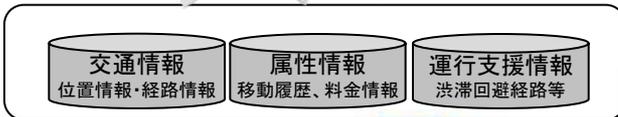
人材育成・ここから村

「半農半芸」の兼業スタイルを提唱
⇒300名の人材育成



『交通・エネルギー』

淡路島内鉄道網なし、公共交通バス縮小



- ・淡路島の道路・交通、災害情報
- ・救急車への運行支援情報
- ・行政へのまちづくり支援情報



オンデマンドバス

バス事業免許を既に取得

共通ID・位置情報



ICTでつながる地域コミュニティ

地域人材の育成
タブレット講座などの勉強会
地域コミュニティの醸成

省エネルギー
電気自動車による宅配サービス
農業経営支援システム

生産、流通、販売システム構築

ECサイト(地場産品やパンのオンラインショップ)

ICTを活用した地域雇用の創出

農業人材インキュベーション
ヘルプデスク、
インストラクション
コールセンター、
データセンター
インターフェイスの改修

淡路市とパナソニックグループの取り組み

パナソニックグループは2008年より淡路市とともに就農者育成や6次産業化人材の育成など雇用創造につながる取り組みを実施

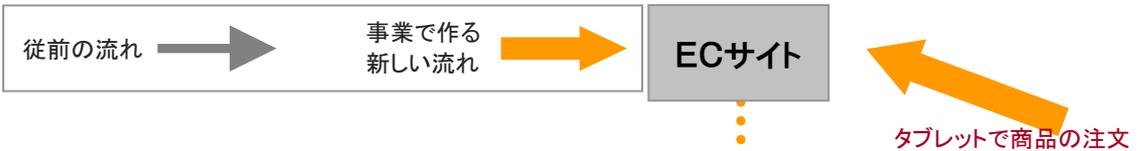
地域住民の生活利便性を向上する淡路ICTスマートアイランドプロジェクト事業概要図

地域の自然環境やインフラを活用したICTスマートタウン



あわじICT

淡路市、兵庫県とパナソニックグループが連携し、淡路市内の各種インフラとICT技術を活用して、地域の活性化と「ICTスマートタウン」の実現に向けた実証実験を行ってまいります。実証にあたっては淡路市の住民や兵庫県立大学等の意見を聴取、定期的に協議を行いながら、検証を進めてまいります。



農業チャレンジファーム

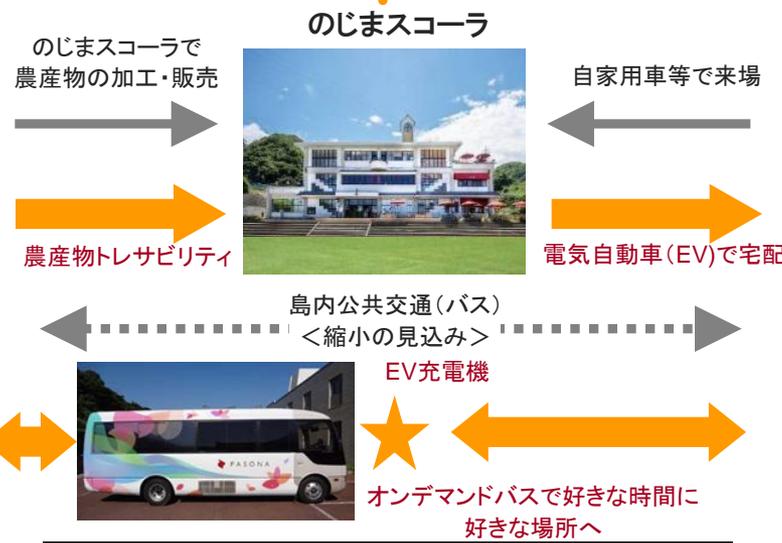
農と食の持続

農と食の人材育成

- 実践・座学の2年課程で独立就農支援
- 農と食を結んで独自の価値を生み出す人材育成

+

- ICT農業の導入により生産性向上と新規就農者の独立支援促進



交通・エネルギーの持続

環境にやさしい乗り物の普及促進

- 電気自動車を宅配サービス等に活用、またのじまスコーラにEV充電器を設置するなど、EVの普及促進に貢献。

地域住民

暮らしの持続

高齢者にやさしい持続システムの構築

<現状>

- ・公共交通機関(バス)の運行は縮小の方向性
- ・便利なICTサービスがあっても利用方法が分からない

↓

- オンデマンドバスのシステムを導入し、住民の生活や要望にあわせた移動手段を提供
- 各種ICTサービスの利用を促す講座展開、問合せ窓口の設置などで、継続的に地域住民がICTサービスに触れる機会を増やす。

※次年度以降まで含めた目標イメージであり、今年度事業においては実施しないものも含まれます。

名称	役割及び責任
淡路市	<ul style="list-style-type: none">・本事業の監修・事業で活用可能な公共データの提供
株式会社パソナふるさとインキュベーション	<ul style="list-style-type: none">・本事業全般の管理・統括・のじまスコラにおけるスクール事業の運営、効果測定
株式会社パソナテック	<ul style="list-style-type: none">・各種アプリケーション、システム開発全般及びシステム運用
株式会社パソナロジコム	<ul style="list-style-type: none">・オンデマンドバスの運営及び実証実験
兵庫県	<ul style="list-style-type: none">・あわじ環境未来島構想との整合性の監修・事業推進サポート・公共情報コモンズとの連携支援

事業実施状況 概要



あわじICT

・2013年4月19日(火)～ ICT利活用講座の実施

地域住民向けタブレット教室実施

15回開催 延べ106人参加

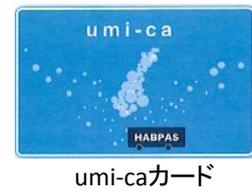
農業従事者向け農業ICT講座も11月19日(火)より4回開催

・2014年1月9日(木) umi-caカード発送

umi-caカード発送完了

<対象>

のじまスコアラ パス倶楽部カード会員様で、淡路市にお住まいの方計1538名



umi-caカード



地域向けタブレット講座チラシ



農業ICTセミナーチラシ



同封の取扱説明書

・2014年1月14日(火) サービスリリース

メディア向けサービス説明会実施

新聞4紙(神戸新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞)に

取り上げられ、当日夕方の地元TVニュース(サンテレビ)番組でも放映



1月5日発行「広報淡路」11ページ



・2014年2月7日（金） 電気自動車用充電スタンドの設置

電気自動車向け充電スタンドの設置を行い、電気自動車の普及促進活動を開始（※）。

- ・設置機種：G-Station Type-A（トヨタメディアサービス）
- ・設置箇所：のじまスコーラ

※ICT街づくり推進事業とは別の予算による事業。



充電スタンド『G-Station』

・2014年2月9日（日） シンポジウム開催

サービス利用促進の為、淡路市ICT街づくりシンポジウム開催

・第1部 基調講演

- 『豊田市ICT街づくり事業について』 名古屋大学 森川高行氏
- 『国内外スマートモビリティ社会実証事例』 日本総合研究所 浅井康太氏

・第2部 ICT体験ブース&次世代自動車展示会

- スマートデバイス、アプリケーション等の体験
- あわじICTポータルの利用方法講座
- エコカー展示/試乗会など



淡路市ICT街づくりシンポジウムチラシ

・参加者数:

第1部:124名 第2部:約220名



EV宅配車

< コールセンター稼働実績 >

運営期間 : 2014年1月14日 ~ 2013年2月6日(実稼働日18日間)
9時~17時(1日8時間)

利用実績 : 着信 計34件
お問合せ内容の大多数がカードの使い方。バス予約は2件。

発信 計632件
ユーザーへのシンポジウムのご案内



コールセンターの様子(絵島館内)

< 課題 >

- ・ユーザーへの認知が遅れており、更なる稼働率向上が必要。

< 対策 >

- ・のじまスコアラの予約をコールセンターにて実施する。
- ・メールでのお問合せを可能にする。
(あわじICTポータルにお問合せフォームを設置)
- ・コールセンターからのご案内により、ユーザーとのコミュニケーション密度を上げる。

< 送迎バス乗降実績 >

◆ サービスリリース前

期間 : 2013年10月14日 ~ 2013年10月31日(運行15日間)
運営 : 1日/8時間 16便 運行
利用人数 : 160人利用

◆ サービスリリース後

期間 : 2014年1月14日 ~ 2014年1月31日(運行15日間)
運営 : 1日/8時間 16便 運行
利用人数 : 157人利用



< 課題 >

- ◆ 地域住民の皆様や、のじまスコラのご利用者様へ周知させる事が必要。
(リアルコミュニケーションの場を有効活用する)

< 対策 >

- ◆ コールセンターからのアウトバウンドによるご案内、SNS等による発信周知。
- ◆ のじまスコラで実施するリアルイベント等のリアルコミュニケーション時にICT利活用の機会を作ってゆく。
- ◆ のじまスコラのホームページ内においても送迎バスを利用しやすくする為のアクセス方法を追加。

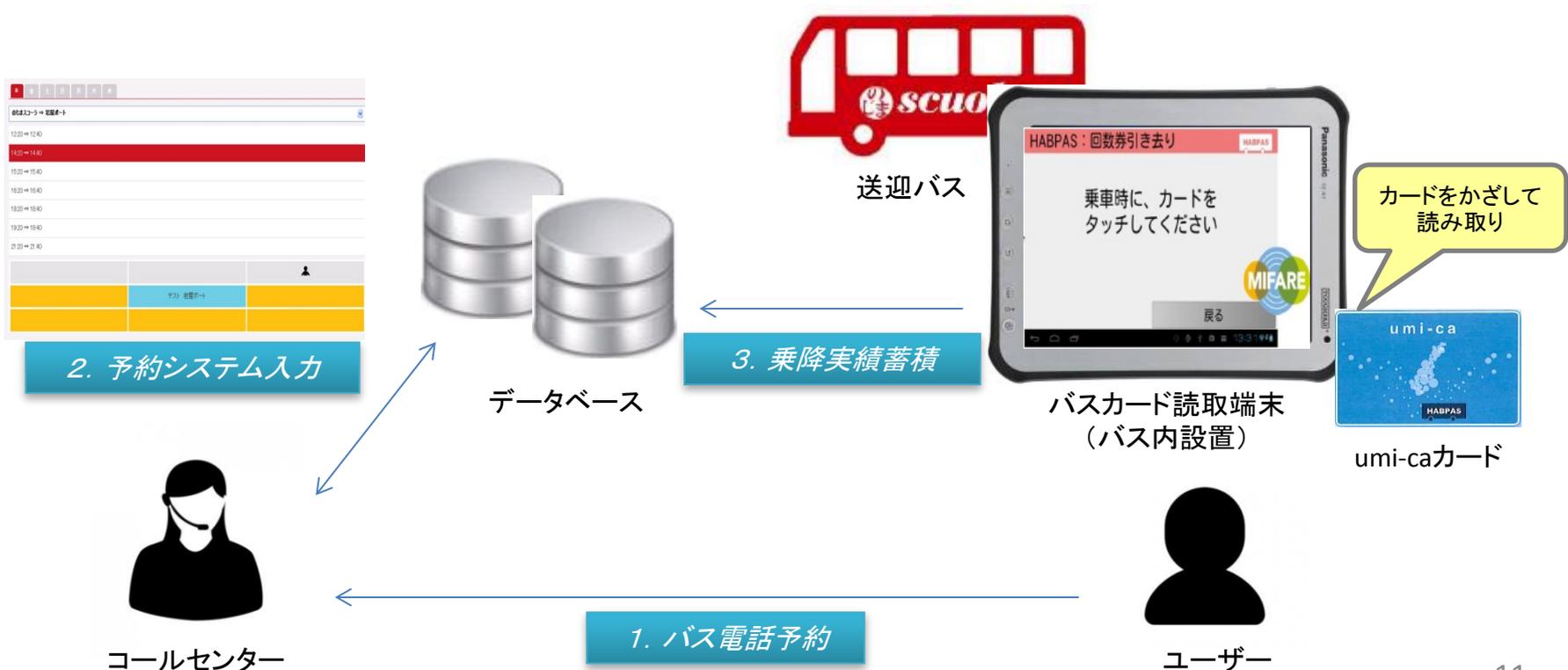
【A.共通ID利活用】

(ア)交通分野

オンデマンドバス利用予約における認証及び会員参照
乗車及び降車時利用実績の把握



ユーザーからの電話予約可能。
また乗降時のカード読取により、会員情報、乗降位置、時間を把握可能。



(イ)防災・減災

防災情報等のメール配信先会員参照



メールアドレスをお持ちのユーザーが少ないため、現時点では本機能見合せ

大規模災害時等における個人識別



あわじICTポータルの安否確認メールにより可能。
またMedica機能の発動によって、更なる機能充実が可能。



あわじICTポータルの安否確認メール送信ページ

<各サービスの利用度>

・住民のサービス利用頻度:カード配布したユーザーの25%が1回/週以上のペースでサービスを利用



1週間に約400人のユーザーにサービスをご利用いただくために、今後コールセンターからのアウトバウンドを増やし、ユーザーへご利用を促す。

・バスの利用率:オンデマンドバス利用講習への参加者の60%の方がバスを利用



現時点では1日平均10人以上のユーザーが利用。

【B. オンデマンドバス】

島内での新たな移動手段を目的としたオンデマンドバスの提供により、交通弱者及び観光利用者に以下に記載する機能及びサービスを実現。

(ア) 乗車及び降車地の予約

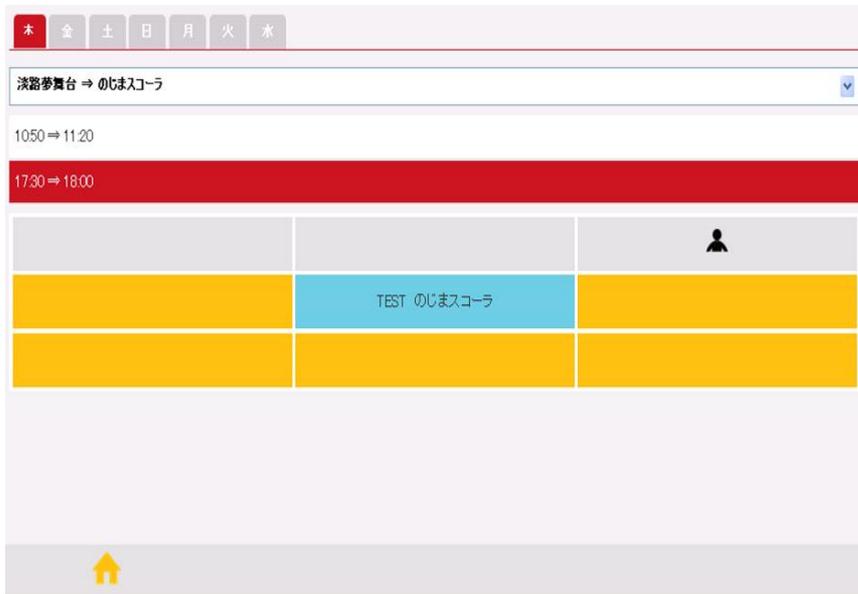


ユーザーからの電話予約により、乗車及び降車地の予約が可能。

(イ) リアルタイム運行状況及び経路の提供



あわじICTポータルより、バスのリアルタイム運行状況及び経路を確認可能。



オペレーター予約画面



あわじICTポータル「バス情報」画面

(ウ) 経路毎の平休日の利用実績予測(空席予測、予約支援)

➡ ユーザー乗降データを蓄積し、今後の経路毎の利用予測に活用可能。



(エ) 効率的な運行・配車管理システム

➡ ユーザーの予約場所をもとに、コールセンターにてバス到着予測時間を提供。



【C. 防災・減災機能】

平時のICT利活用と、緊急時、災害時における防災・減災機能の発揮

(ア) タブレット・スマートフォンでの入力機能強化



あわじICTポータルにて各種入力、閲覧機能を強化。

ご注文フォーム

ご利用いただく前に、[会員情報](#)で自宅位置情報の登録が必要です。
※キャンセルは前営業日17時まで可能です。

未配達注文キャンセル →

ご注文商品(商品Noと個数をご入力ください。※記入)

その他、ご連絡がございましたらご記入ください。(100文字以内)

電話番号

メールアドレス
test@test.jp

郵便番号
656-2401

住所
兵庫県淡路市岩屋024-1

配送先設定

会員情報からご自宅位置を登録されていない場合、配送先を設定する必要があります。

注文 →

各種入力項目

あわじICTポータル「お買い物」ページ

天気・災害情報 防災情報共有 バス情報 お買い物 講座ご案内 会員情報

2014年02月06日 (木) 18:02
(2014年2月6日17時発表)

今日の天気

洗濯指数 紫外線指数 花粉指数 乾燥指数

降水確率

00:00	06:00	12:00	18:00	24:00
-%	-%	-%	30%	

週間天気予報

日付	02/07 (金)	02/08 (土)	02/09 (日)	02/10 (月)	02/11 (火)	02/12 (水)	02/13 (木)
天気							
気象情報							
気象レーダー							
最高	6	7	9	8	8	9	8

気象レーダー 台風 注意報警報 津波

あわじICTポータル「天気・災害情報」ページ

(イ) タブレット・スマートフォン専用WEBサービスの構築



あわじICTポータルはタブレット・スマートフォンで利用可能。



(ウ) SNS(Twitter・Facebook)との連動機能



災害時の不確定(デマ)情報を共有することを懸念、本機能は見合せ。
ただし代替として、シンポジウムにてSNS連携機能に関するアンケートを実施、
市政に参考となるデータの集約と報告を行う。



Twitterでの現地災害写真アップロード(例)



写真をアップロードした場所も把握できる。

アップロードした場所も把握可能

【回答採取方法】

2月9日(日)シンポジウム当日、参加者に対してあわじICTポータルの説明用動画(3分程度)を視聴してもらい、簡易アンケートに対して回答してもらうという形で意見採取。

◆回答者数:83名(男性:42名 女性:40名 無回答:1名)
内、60歳以上の方の割合:19.3%

Q.Twitterなどによる防災情報の共有が出来た方がよいと思うか。

Yes:65人(78.3%) No:12人(14.5%) 無回答:6人(7.2%)

⇒ 約8割の方が、SNSを活用した防災情報に前向きな回答。

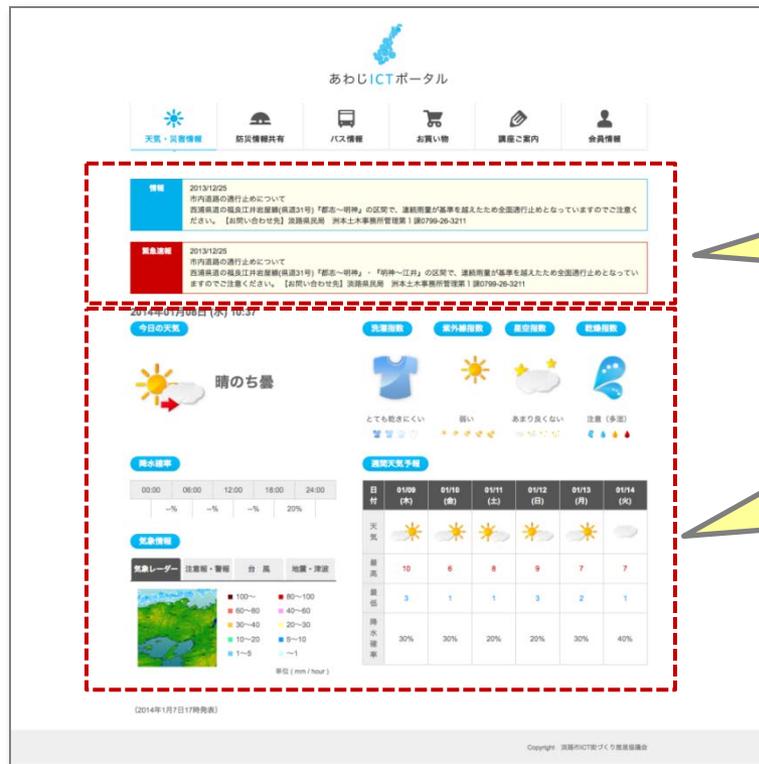
※60歳以上の年齢層においても約7割を超える方が前向き。

Q.あわじICTポータルに期待すること(自由回答)

- 1) **医療機関との連携**をして欲しい
- 2) **防災情報**の返信機能や独居老人の日常における安否確認など
- 3) ジェノバライン(フェリー)の運行状況が分かる機能が欲しい
- 4) 淡路市内のイベント情報などを発信して欲しい
- 5) 宅配サービスにてお弁当や惣菜を扱って欲しい

< 現在の取り組み >

今年度は有事の際の安否確認システムの導入および、兵庫県様、淡路市様、ラジオ関西様から提供される「ひょうご防災ネット」とウェザー・サービス様から提供される災害情報等との連携を行い参加市民の方々へ提供を開始。



「ひょうご防災ネット」のデータ

青色枠: 周知情報
赤色枠: 緊急情報

※ 1時間以内の公開データのみ
※ データがない場合は表示されない

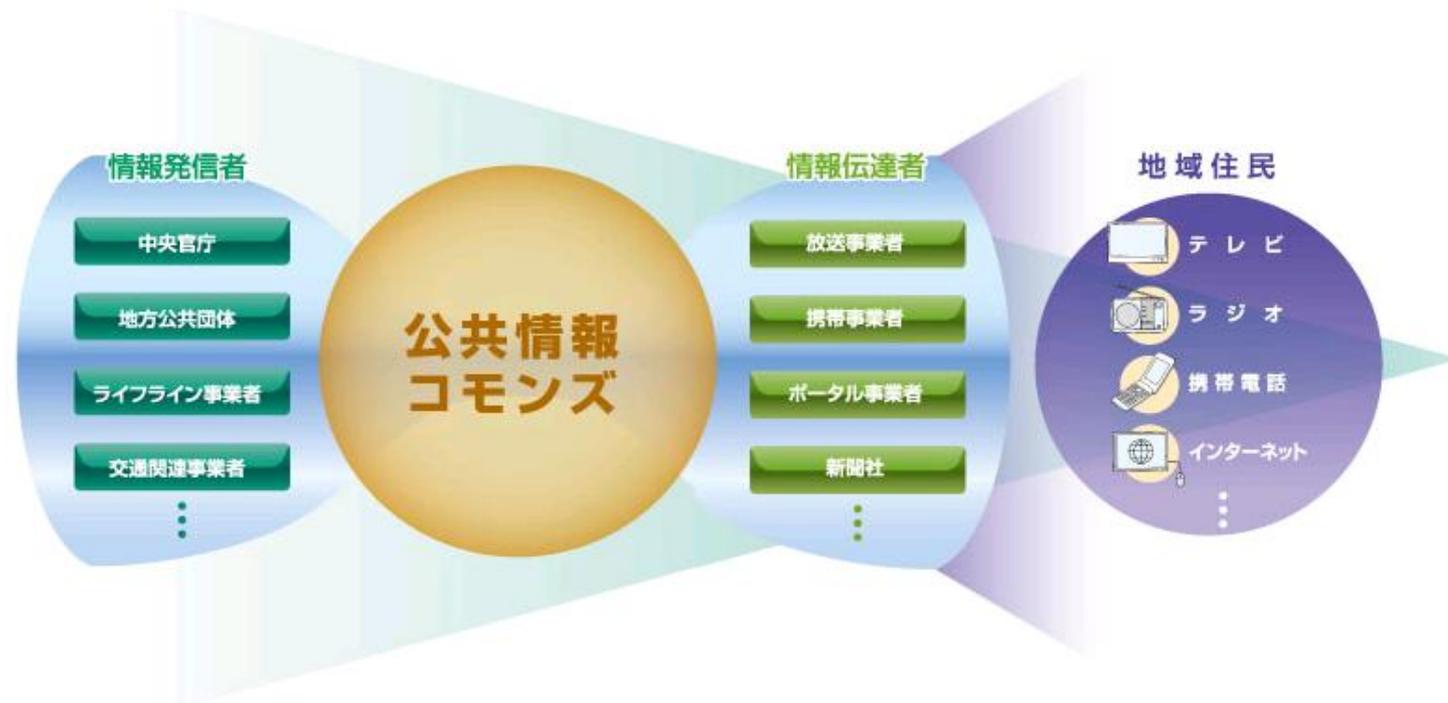
ウェザー・サービス様提供データ

淡路市周辺の気象データ+島民向けにカスタマイズした指数データを表示

- ・今日の天気
- ・週間天気
- ・各種指数データ
- ・気象情報4種

< 今後の取り組み >

今後は有事において放送波の活用が必須となると考えており、次年度へ向けて公共情報コモンズとのシステム連携を既に実施中。



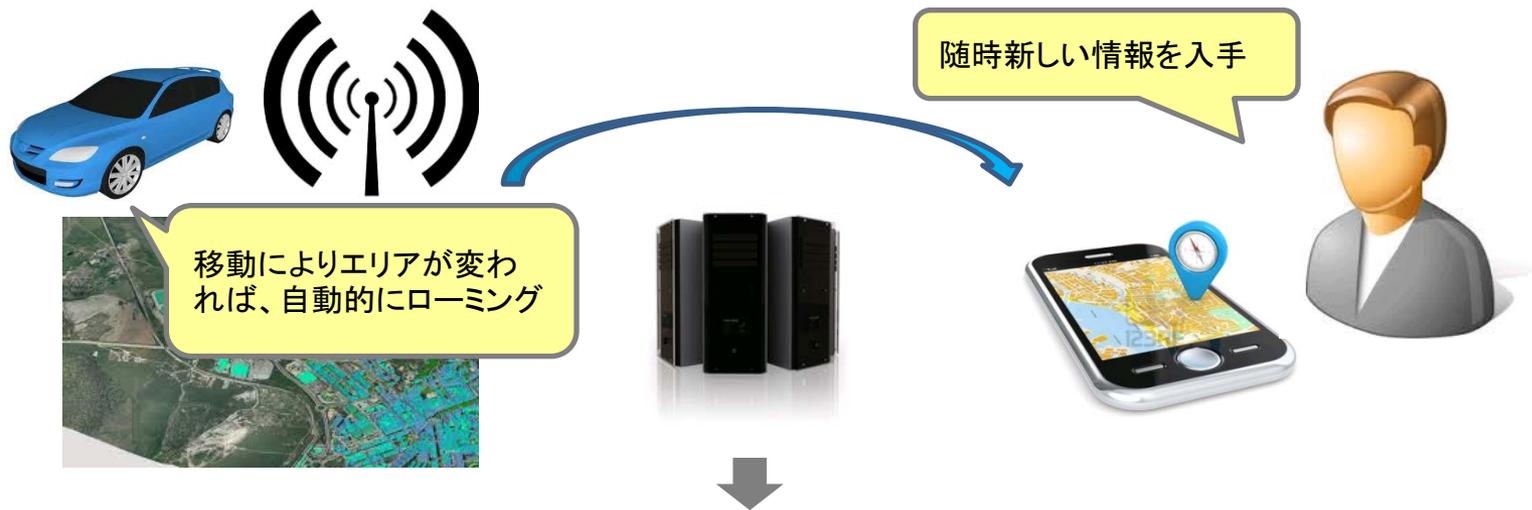
公共情報コモンズ の概念

(一般財団法人マルチメディア振興センターHP(<http://www.fmmc.or.jp/commons/>)より抜粋)

< 今後の取り組み >

また、平行してAM・FM放送波をトリガとした防災情報提供の仕組みについてもラジオ関西様と検討開始。

エリアごとの放送波を活用した双方向通信による災害情報の提供や、避難誘導を実施する仕組みを構築。



地図・位置情報(G空間)を含むICTを用いて、防災だけでなく観光や農業など他分野も視野に入れた活性化を目標。



あわじICTスマートアイランドプロジェクト

